

# まちの話題



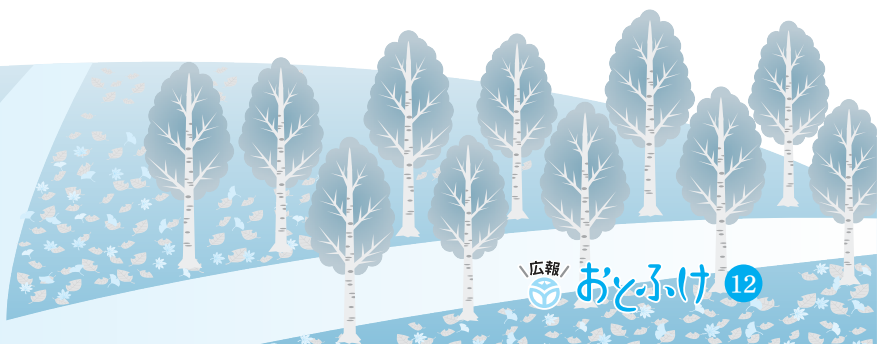
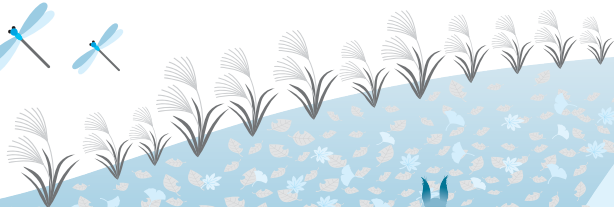
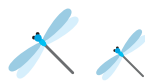
## 地産地消で音更を楽しむ

みのり〜むフェスタおとふけ2018がアグリアリーナで開催され、たくさんの人たちが訪れました。飲食コーナーではすずらん和牛や音更産のブロッコリーを練り込んだ麺を使ったラーメンなど、地産地消のコンセプトに沿ったメニューが並び、来場者の舌を楽しませていました。ステージでは音更高校書道部の力強い書道パフォーマンスや、音更町出身のパフォーマー飛花<sup>ひか</sup>さんのショーに会場は大盛り上がりでした。



## 楽しく手話を学ぼう

共栄コミセンで手話体験会が開かれました。音更ふきのとう手話の会の皆さんが指導。始めに五十音やあいさつの手話を教わった後、グループに分かれて自己紹介。趣味や好きな食べ物の表現などを教わりました。その後ジェスチャーで伝言ゲームをし、最後には全員でアニメソングの「さんぽ」を手話で歌いました。参加者は講師の身振り手振りを見ながら、楽しく手話を学んでいました。





## これからも安全運転 してください



南中音更小学校の全校児童が、学校近くの真柄さん宅の敷地で「交通安全キャンペーン」を行いました。大人たちが沿道に立ち、道行く車を敷地内に誘導。児童は学校農園で育てたじゃがいもの袋詰めと手書きのメッセージカードを渡し、交通安全を呼びかけました。



## おいしいお酒になあれ



地酒「十勝晴れ」の原料となる酒米(彗星)<sup>すいせい</sup>の稲刈りが、十勝川温泉の白木祐一さんの水田で行われ、下士幌小学校の5、6年生15人が参加しました。長雨の影響などにより生育が心配でしたが、見事黄金色に成長。参加した杉本采春<sup>ことほ</sup>さん(6年)は「鎌を持つのが怖かったけど楽しかった」と笑顔で話してくれました。



## むかわ町の状況を報告



9月15日～19日、北海道胆振東部地震で被災したむかわ町に音更町から職員4人が派遣されました。罹災<sup>さい</sup>証明の発行や、被害状況の台帳整理などの業務を担当。派遣職員の1人は「私たちが派遣されたことで、不眠不休で業務に当たっていたむかわ町職員が若干でも休めたようでよかった」と話してくれました。



## 食べ残しを減らそう



10月16日の世界食糧デーに合わせ、9日～19日まで、木野支所で食品ロスに関するパネル展が行われました。日本では「食品ロス」と呼ばれる売れ残りや食べ残しが年間約621万トンもあります。必要なものだけ買うようにしたり、食べきれないものは冷凍保存や他の料理にアレンジして、食材を使い切りましょう。